

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	15 - 学 - 10
-----------------	-------------

平成15年度配分 研究成果の概要

研究名	デザイン学部卒業展に関する研究				
配分を受けた特別研究費	学長特別研究費				4,000 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン	技術造形	教授	松原季男	アドバイザー・代表
共同研究者	デザイン	生産造形	教授 教授	野中寿晴 佐野邦雄	検討・企画
	デザイン	生産造形	助教授 助教授	黒田宏治 田邊英隆	
	デザイン	技術造形	助教授 講師	長嶋洋一 佐藤聖徳	
	デザイン	空間造形	教授	古瀬敏	
	デザイン	空間造形	助教授 助教授	宮川潤次 深田てるみ	
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 年 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:学生とのプロジェクトを結成し、第1回卒業研究制作展として開催した。		発表日 (発表 予定日)	平成16年2月27日 ~ 3月8日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本研究は、静岡文化芸術大学デザイン学部卒業生の卒業研究の制作物や研究成果を、具体的に地域や社会に公開する「卒業研究制作展」について調査・研究・実施することを目的とする。あわせて、来年度以降の卒業研究制作展の実施に向けた調査・検討、全国的な広報についての調査・検討、また、作品目録などの記録を大学全体のプレゼンテーションとして活用する方法、そして文化政策学部を含めた本学全体の広報機能としての検討も行う。

(研究の実施方法等)

デザイン学部各学科代表の教員を中心に学生を含めたプロジェクトチームとして行った。

(1)会場：本学

生産造形学科：自由創造工房

技術造形学科：文化・芸術研究センター

空間造形学科：ギャラリー

(2)展示方法：卒業生全員の作品を展示

(3)記録：図録(卒業研究制作作品集)及びDVD・CD-Rを制作し、学内(教職員・学生)に有料で、学外(卒業研究制作展に協力していただいた企業等)に無料で配付した。

(得られた成果等)

初めての開催であったが、教員・学生がそれぞれの役割をきっちりこなすことによって、大きなトラブルもなくスムーズに行うことができた。

学外からの観覧者も多く、本学のデザイン学部学生の学業の成果を対外的にPRできた。学業の成果の出来不出来はともかく、デザイン学部の教育理念に基づく作品を公に披露できたことは、次回に向けての本学への期待感をもていただけるものであった。

今回の卒展の開催は、このようなデザインの情報発信の場として地域に貢献するとともに、入学志願者や在学生の就職活動への強力な広報となった。

また、次年度以降の実施方法の検討として、学生を中心としたプロジェクトチームで開催することができることも明確となった。